

図書関係事業概要

昭和三十年度に於ける主なる事業は、左に列記した如くである。

一、出版

桂宮本叢書^{第五卷}私家集五 一冊 二七〇部 (市販) (二三〇部) 養徳社

(内容) B 6 版 三三二頁 院政末期から鎌倉初期の十二歌人、十

二集を収めた。即ち頼輔集、經正朝臣集、經家卿集、唯心房集(寂

慧)、季經入道集、隆房集、無名和歌集(慈鎮)、淨照房集(光家)、

郁芳三品集(範宗)である。(昭和三十年三月発行 四五〇円)

旧伏見 水左記 康平七年 一卷 解説一冊 一五〇部 便利堂

宮本 秋冬 本書は、康平七年四季二巻の内、秋冬の俊房自筆曆記一巻で、既に

二十九年度当部よりコロタイプ刊行した春夏一巻に引続き刊行した

ものである。(昭和三十年十二月刊行)

書陵部和漢図書分類目録索引 一冊 五〇〇部 印刷局

本索引は、B 5 版 八二二頁、既に刊行をみた和漢図書分類目録上

下(二冊)に収載する全図書名約十萬を、発音式、五十音順に配列

した書名索引(七八七頁)と、その書名の漢字頭字の画引索引(二

五頁)とからなる。(昭和三十年三月刊行)

二、マイクロ・フィルム

毎年、東山御文庫本、その他貴重図書のマイクロ・フィルムによる複本作成を行っているが、これに併行して、書陵部本のマイクロ撮影の増加を計画している。その撮影書目撰定の資料として、七十八の主要研究団体に希望書目の申し出を依頼したところ、十一の研究団体から申し出があつた。撮影書目撰定の上、順次撮影し、学術研究の一助としたいと考えている。

昭和三十年度に於ける撮影書目を列記すれば、

顯 注 密 勘 抄(東山御文庫本)	尊藤丸写	三冊	二二六コマ
和 歌 略 密 抄(東山御文庫本)	室町写	一冊	一一〇コマ
古 今 集 聞 書(東山御文庫本)	原 本	六巻	一九八コマ
僻 案 抄(東山御文庫本)	江戸写	一帖	七四コマ
即位灌頂秘説(東山御文庫本)	江戸写	一折	一四コマ
貞享四年即位灌頂御日記(東山御文庫本)	原 本	二点	一九コマ
後鳥羽天皇宸記(東山御文庫本)	室町写	一巻	四〇コマ
皇 代 曆(御山御文庫本)	江戸写	六巻	一八二コマ
本朝皇胤紹運録(東山御文庫本)	豐元天皇宸筆	一巻	二六コマ
大 嘗 宮 指 図(東山御文庫本)	江戸写	一鋪	四コマ
順徳天皇御記(東山御文庫本)	豐元天皇宸筆	一冊	二三コマ
後伏見天皇宸記(東山御文庫本)	江戸写	四冊	八五コマ

花園天皇宸記(東山御文庫本)	豐元天皇宸筆	三冊	五五コマ
光明院御記(東山御文庫本)	後西・豐元天皇宸筆	五冊	一〇四コマ
後圓融院御記(東山御文庫本)	豐元・桜町天皇宸筆	三冊	三五コマ
正親町院宸記(東山御文庫本)	豐元天皇宸筆	二冊	六〇コマ
親王元服記(東山御文庫本)	豐元天皇宸筆	一冊	一二コマ
公事装束抄(東山御文庫本)	室町写	一冊	四七コマ
水無瀬殿靈驗記(東山御文庫本)	江戸写	一卷	一五コマ
八幡御幸御記(東山御文庫本)	室町写	一卷	六コマ
八幡御幸御記(東山御文庫本)	室町写	一卷	一四コマ
後深草天皇宸記(東山御文庫本)	江戸写	一卷	七コマ
後宇多天皇宸記(東山御文庫本)	室町写	一卷	一六コマ
建武年中行事(東山御文庫本)	後花園天皇宸筆	一帖	一〇四コマ
建武年中行事(東山御文庫本)	貞享元写	一冊	九八コマ
當時年中行事(東山御文庫本)	後水尾上皇宸筆	一冊	七一コマ
一代要記(東山御文庫本)	鎌倉写	四帖	三五五コマ
名目鈔(東山御文庫本)	洞院実熙筆	一冊	三五コマ
名目鈔(東山御文庫本)	伝三条西実隆筆	一冊	三一コマ

心底抄(東山御文庫本)	江戸写	二綴	一二コマ
後花園天皇御製集(東山御文庫本)	室町写	一卷	二四コマ
源氏物語奥入(東山御文庫本)	江戸透写	一冊	一二五コマ
行俊卿古文愚草(東山御文庫本)	室町写	一卷	一六コマ
東山天皇御讓位記(東山御文庫本)	江戸写	一冊	二三コマ
論衡(書陵部本)	宋版	一二冊	五一五コマ
集韻(書陵部本)	宋版	九冊	四五〇コマ
西園寺家文書(續校國北山本新庄の項書陵部本)	原本	一軸	一コマ
善通曼茶羅兩寺々領注進状(書陵部本)	鎌倉写	一軸	一〇コマ
八幡宮関係文書(書陵部本)	原本・写本	一冊	一二コマ
俳諧連歌(書陵部本)	鷹司信房写	一冊	一五コマ
後撰和歌集十五冊八代集の内書陵部本堀河具世写	二冊	二七三コマ	
宇治拾遺物語(書陵部本)	江戸写	二冊	二五七コマ

三、展示会

恒例の展示会として、十月三、四日に東山御文庫本を展示した。その展示書目は前掲のマイクロフィルム撮影書目とはほぼ同様である。その他、各研究団体等の要望により、適宜所望主題の小展示会を開催した。